

第3・4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

- 1 日時：令和4年12月1日（木）5校時
- 2 指導者：桐山 絵吏
- 3 学年：第3学年（男子1名 女子1名）
第4学年（男子2名 女子2名）計6名
- 4 単元名：発見！豊浜町の〇〇名人

単元（題材）について

本単元は、本質的な問い「地域・人とどうつながり、どんな人になりたいのか、どう生きるのか」を基に構想し、本校の校区にある豊浜町の産業について調べ、校区の魅力を理解・発信していく視点から、自らが設定した課題を解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力【生きてはたらく知識・技能】【課題を解決し、発信する力】【主体的に学び、協働する力】を育成することをねらいとしている。

本校の校区は、豊島、大崎下島の2つの島で広範囲に広がっており、海や山など豊かな自然環境に恵まれている。豊島にはGI登録もされた「豊島タチウオ」、かつて「黄金の島」と呼ばれていた大崎下島には「大長みかん」やレモンなど、全国に自慢できる産業がある。しかし、生産者の高齢化や後継者不足により産業人口が少なくなっており、それにともなって地域のよさや産業について子どもたちに十分伝承する機会が減少している状況がある。また、大長みかん一つとっても、おいしいみかんがいつでも食べられる「当たり前」「日常」により、地域のよさをよさとして捉えられていない側面もある。

そこで本単元「発見！豊浜町の〇〇名人」では、地域に出かけ、調査し、あるいはICTを活用して情報を収集し、パンフレットや動画にまとめたり表現したりすることを通して、地域の産業に興味・関心をもち、地域の一員として、地域との関わりや自分の生き方について児童一人一人が考えをもつことができるよう展開する。名人を発見することを起点に、このような活動を通して、地域の産業やそれらを守り伝える人々の努力や工夫を知ったり考えたりして、自分たちの住む地域に誇りに思い、地域を大切にす気持ちを高めていくことをねらいとしている。

本学習を計画するための事前課題

本単元を学習するにあたって行った事前アンケートの結果は、以下の通りである。

質問事項	児童数（全6名）			
	とても	やや	あまり	まったく
① 自分たちの住んでいる地域のことが好きですか。	5	1	0	0
② 豊浜町で働く人々のことをもっと知りたいですか。	3	3	0	0
③ 豊浜町にある「地域の自慢」について興味・関心はありますか。	3	3	0	0
④ 授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思いますか。	5	1	0	0
⑤ 「総合的な学習の時間」では、ICT機器の活用ができていますか。	4	2	0	0

<アンケートの分析から>

- ① 自分たちの住んでいる地域のことが好きな児童が多い。
- ② ③ 豊浜町の産業について「知りたい。」という興味・関心はあったが、同時に、あまり詳しく知らないという声も上がった。
- ④ 多くの児童が、課題について疑問をもったり意欲的に調べたりしたいと思っているが、一方で実際に相手意識をもったり焦点を絞ったりして情報を収集する活動を行っている児童の割合は少ない。
- ⑤ ほとんどの児童がタブレットを活用し、情報収集をしたり意見を交流したりすることができていると言える。

課題の分析をふまえた指導改善のポイント

<育成を目指す資質・能力に結び付く課題設定の工夫>

本単元では、本質的な問い「地域・人とどうつながり、どんな人になりたいのか、どう生きるのか」を基に単元を貫く問いを『豊浜町』の名人を伝えるために、自分たちは何ができるのだろう」と設定し、相手意識及び目的意識をもって名人へのインタビューなどの活動を行っていく。学習活動に意欲的な児童が多いので、児童主体の「なぜだろう」「調べてみたい」というような思いを大切にしながら学習を進めていくようにする。その際に、どうしてそう思ったのか、なぜ調べてみたいのかといった理由を尋ねたり、調べる方法や視点を示したり、思考スキルや思考ツールで考えを整理させたりして、学習の目的や方法を児童自身にしっかりと理解させながら学習を進めていきたい。また、常に設定した課題を意識させ、単元の要所で問い続けていき、一人一人が自分にできることを深く考えられるようにしていきたい。そのためにまず、第0次として、児童が知っているようで知らない豊浜町についてイメージマップを使って明確にし、それを基に何の名人について調べるか、またどの時期に調べるかについて、児童が主体となり決めていった。

単元構想として、豊島タチウオとよっちゃん豆腐の2グループに分かれ、第3次で1分動画にまとめるための情報収集をすることをゴールとしている。アピール動画作成の目的や何を伝えたいのかを明確にし、それぞれのグループが相手意識をもち、自分が知りたいことと相手が知りたいことを比較、関連付けながら、より分かりやすく、より豊かに表現できるよう、情報を収集・整理していきたい。

第3次では、豊島タチウオとよっちゃん豆腐の魅力を発信するために、収集・整理した情報を基に1分動画を作成し、発信していく。特によっちゃん豆腐については、とびしま4島の学校給食にも使用されているため、日々同じ豆腐を食している蒲刈小学校との交流を通して地域のよさを共有、再発見させていきたい。

本時では、1分動画作成についての計画を立てる。前時までに豊島タチウオやよっちゃん豆腐について見たり、調べたりしたことをまとめ、「豊浜町の名人のアピールポイントはどれか」ということについて意見を出させておく。その上で、自分達が名人について伝えたいことやその順序を考えさせる。その中で相手意識をもち、相手が知らないことや、もっと知りたいだろうということ、現時点での課題について考えながら順序や内容のアイデアを練り合わせていく。知っていること、伝えたいこと、課題をそれぞれ整理した上で、このことによって、見通しと目的意識、そして相手意識をもたせ、学習への意欲関心をさらに高めていきたい。

<思考スキルを活用したかかわり合う指導の工夫>

- ① **関連付ける**…豊浜町の産業やそこで働く名人とは何か、また自分の知りたいことや相手の知りたいことについての連想を広げることで、児童が調べる対象を明確化したり、調べる内容について新たに生まれたアイデアを整理し、焦点化することで調べ学習の活動へとつなげて考えさせる。
- ② **理由付ける**…調べたことやインタビューしたことを根拠として豊浜町の名人や地域産業の魅力を話し合わせたり、目的や相手に応じて発信内容の表現方法を考えさせたりする。
- ③ **多面的に見る**…豊浜町の名人について調べる際、自分が調べたいことと相手が知りたいことをトピックの要因としてまとめ、具体的な質問内容や収集する情報の自身を考えさせる。

単元（題材）の目標と評価規準

- 豊浜町の産業について調べたり，地域の人にインタビューをしたりする活動を通して，豊浜町の特色やそこで働く人々の感じ方や考え方を理解し，働き支える人々が様々な努力や工夫をしていることに気付き，豊浜町の魅力を考えたり，目的や相手に応じた表現の工夫を考えたりして，自分たちの地域に愛着をもち，大切にしていける気持ちを高め，自己の生き方や夢につなげることができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力，人間性等
生きてはたらく知識・技能	課題を解決し，発信する力	主体的に学び，協働する力
校区である豊浜町の自然や人々の良さや特色，そこで働く人々の感じ方や考え方を理解し，これまでに身に付けてきた知識及び技能に加え，情報を比較したり分類したりする等，探究の過程に応じて活用することができる。	自ら課題を設定し，調べたりまとめたりする活動を通して，また表現する活動を通して，豊浜町で働く人々や地域の良さについて考え，目的や相手に応じて，魅力を分かりやすく豊かに表現し，相手に伝えることができる。	自分が調べたいことを進んで考えたり，自分の意見をもち，粘り強く調べたりして，課題を解決することができる。また，友達とお互いの考えを交流しながら協働して活動したり，地域の人と適切に関わったりすることができる。

指導と評価の計画

（全58時間） 本時は35 / 58

次	学習内容(時数)	観点別評価規準				
		知	思	主	評価規準	
0	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">課題の設定</div> <p>○豊浜町ってどんなところなのだろう。</p> <p>・豊浜町の名人はどんな仕事をしている人なのか予想する。 (1)</p>			○	<p>・豊浜町のよさや名産について考えようとしている。</p>	<p>発言 ロイロノート</p>
わたしたちの住む「豊浜町」はどんなところだろう。～アビ漁名人を通して～（15時間）						
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">情報の収集</div> <p>○「アビ漁名人」を探そう。</p> <p>・地域の冊子や資料，ICTを活用してアビ漁についての情報収集をする。 (2)</p> <p>・集めた情報を整理し，資料館で見聞きする内容を整理したり，ゲストティーチャーに質問することを考えたりする。 (2)</p>	○		○	<p>・豊浜町の産業であるアビ漁について理解している。</p> <p>・目的意識をもって，調べたいことや質問内容を考えている。</p>	<p>ノート ロイロノート</p> <p>ノート ロイロノート</p>

1	<p>実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アビ漁名人」を知ろう。 ・アビ漁の漁師にアビ漁資料館を案内してもらい、漁の方法や歴史について見たり、説明を聞いたりする。(4) ・見学してメモしたことやインタビューしたことを発表し、学級で共有したり整理したりする。(2) ・整理したことを基に「アビ漁パンフレット」を作成する。(4) 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを取ったり、質問をしたりして、積極的に学習に参加している。 ・見学で聞き取ったことを共有し、それらを基に御手洗の魅力を考えている。 ・インタビューしたり調べたりしたことを基に、友達考えを生かしながらパンフレットをよりよいものにしようとしている。 	<p>発言 ノート 行動観察</p> <p>発言 ワークシート</p> <p>作品物</p>
<p>新たな課題の設定</p>						
<p>「豊浜町」の名人をもっと探ろう。～豊島タチウオ・よっちゃん豆腐を通して～ (22時間)</p>						
2	<ul style="list-style-type: none"> ○「豊島タチウオ」「よっちゃん豆腐」について、いつ、だれに、どのように伝えればよいのだろう。 ・だれに、どのように伝えるのかを明確にする。(1) <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊浜町の名人はどんな人なのだろう。 ・「豊島タチウオ」「よっちゃん豆腐」の名人について伝える内容を話し合う。(2) ・地域の冊子や資料、ICTを活用して「豊島タチウオ」「よっちゃん豆腐」についての情報収集をする。(4) ・集めた情報を整理し、資料館で見聞きする内容を整理したり、ゲストティーチャーに質問することを考えたりする。(2) ・「豊島タチウオ」「よっちゃん豆腐」の名人にインタビューする。(4) <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どうすれば分かりやすく伝えられるのだろう。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手や方法について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・知っていることや知りたいことを考え、整理したり、それを発表したりしようとしている。 ・豊浜町の産業について理解している。 ・相手意識を持って質問内容を考えたり、よりよい質問の仕方を考えたりしている。 ・名人の方の話を工夫してメモにかき表すことができる。 	<p>発言 ノート</p> <p>ロイロノート</p> <p>ノート ロイロノート</p> <p>ロイロノート ノート</p> <p>発言 ノート 行動観察</p>

2	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を整理して、豊浜町の名人について話し合い、動画にまとめることを確認する。(2) 	○		<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを整理しながら友達と考えを交流し合うことができる。 	発言 ロイロノート
	<ul style="list-style-type: none"> 動画の構成を考えながら、情報を分析したり精査したりして、改善策を考える。【本時】(7) 			<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもって、表現方法を工夫したり、分かりやすくするための改善策を考えたりしている。 	ノート ロイロノート
3	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>多くの人に「豊浜町」の名人の魅力を発信しよう。(20時間)</p> <p>○より多くの人に豊浜町の魅力を知ってもらうためにはどうすればよいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み手に分かりやすいように写真や図、文章などを工夫しながら整理・分析したこと動画にまとめる。(6) 作成した動画を自己評価したり、保護者の方に見てもらい、評価してもらったりする。(2) 動画の手直しをする。(2) 具体的な発表の仕方や役割分担を決めて、発表の練習をする。(3) <p>実行</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な事柄を丁寧に話したり相手に分かりやすく伝えたりして作成した動画を発表する。(1) <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの発表を振り返り、自己評価する。(1) 単元の学習を通してお世話になった人について振り返り、お礼の手紙を書く。(1) 単元を振り返り、豊浜町に貢献できることはないか考える。(4) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもって伝えたい内容を動画にまとめることができる。 友達や保護者の方の考えを生かしながら安全マップをよりよいものにしようとする。 相手意識を持って分かりやすく伝えることができる。 豊浜町の産業やそこに携わる方について考え、調べたり体験したりしたことを相手に分かりやすく伝えることができる。 自分の態度を振り返り、自己評価をしている。 学習したことを振り返り、地域の方など身近な人々に感謝の気持ちをもつ。 学習したことを通して、他にも地域の安全を守るためにできることを考えることができる。 	ロイロノート 作品 発言 振り返りシート 発言 作品 行動観察 行動観察 発言 ロイロノート 作品(手紙) 発言 ロイロノート 行動観察 発言

本時の学習

(1) 目標

- 「豊島タチウオ」や「よっちゃん豆腐」の名人の魅力を伝えるために、出てきた意見から何の情報をもどの順で伝えればよいか考えることができる。

(2) 評価規準

- それぞれのグループで話し合いながら、収集した情報をどの順で伝えるのか、相手意識をもって考えている。【思考・判断・表現】

(3) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (児童の予想及びその指導等)	評価規準 (評価方法)	思考スキル ◎重点
1 本時の目標を確認する。(つかむ・みつける)			
○本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに自分たちが知らせたいことをバタフライチャートにまとめておき、児童に提示する。 ・今日の学習内容について児童に知らせる。 		
めあて：何をどの順で伝えれば、名人の魅力をより相手に伝えられるのだろう。			
2 本時の目標達成に向けた活動に取り組む。(解決する)			
○相手意識をもって、知らせる内容の構成を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・バタフライチャートから導き出した自分の考えを基に、知らせたい内容のまとまりを、どの順で伝えたらいいか、意見を出し合う。 「よっちゃん豆腐への行き方が難しいから、最後に伝えたほうがいいと思う。」 「豊島タチウオがG Iを取ったという、すごいことを最初にした方がよいと思う。」 	<small>十分に満足できる状況 (A)</small> グループ活動に積極的に参加し、よりよい動画にするために、相手意識をもって動画の内容や構成について話し合っている。(行動観察) <small>概ね満足できる状況 (B)</small> グループ活動に参加し、友達の意見を聞きながら、伝える順序を考えている。(行動観察) <small>努力を要する状況 (C) にある児童への手立て</small> グループでの話し合いに参加するように促す。	理由付ける
○内容の構成とその理由を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロット図を使って考えた動画の構成の計画と構成展開の理由を交流さ 		◎関連付ける
◎前時までの振り返りをもとに、伝える順番やその理由を話し合い、プロット図にまとめましょう。			
◎それぞれのグループで話し合ったことや、その順に決めたわけを発表しましょう。			

<p>○内容の構成の交流を基に、内容の構成を決定する。</p>	<p>せる。 「僕たちのグループでは、動画のクライマックスを豆腐作りのこだわりにして、話をこのような順に並べました。」 「みんなが知っていそうな事から知らないことの順序にした方がよいと思う。国語の説明文でも、「中」がこのようになっていた。」 「私たちも取材に行きましたが、失敗から学び、たまに美味しい豆腐ができたらうれしい、とおっしゃっていたので、それも動画に入れたらいいと思います。」</p>		<p>多面的に見る</p>
<p>④ 相手グループの意見を見たり聞いたりした上で、もう一度自分たちのグループの構成を見直し、最終決定をしましょう。</p>			
	<p>・相手意識をもって、伝える順を再考し、決定させる。 「町探検して店が分かりにくい場所があり、聞いた人にこんなにあるのかと驚いてほしいからやっぱり最後に知らせたい。」 「豊島で近年タチウオが獲れない」という問題点を伝えつつ、タチウオのおいしさも伝えていきたいから最後にもっていく。</p>		
<p>3 本時の学習をまとめる。(まとめる)</p>			
<p>○本時のまとめをする。</p>			
<p>まとめ：名人の魅力を伝えるために、相手の知っていること→知らないことなど、伝えたいことと伝える相手のことを考えて内容の順じょをきめればよい。</p>			
<p>4 本時の学習を振り返る。(振り返る)</p>			
<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>「蒲刈小学校の4年生を意識して、動画の内容の順番を考えることができた。」 「動画にする時に、文字の色など考えていい作品にしたい。」</p>		
<p>5 次時の学習内容を確認する。(つなぐ)</p>			
<p>○次時の学習内容を確認する。</p>			

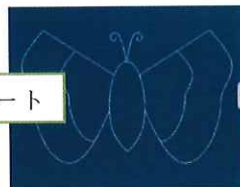
板書

発見！豊浜町の〇〇名人

㊦ 何をどの順で伝えれば、名人の魅力をより相手に伝えられるのだろう。

よっちゃん豆腐

豊島タチウオ



児童が前時に作成したバタフライチャート

豆腐の作り方 → **こだわり** → 場所

タチウオの釣り方 → **名人の思い** → すごさ

㊧ 名人の魅力を伝えるために、相手の知っていること→知らないことなど、伝えたいことと伝える相手のことを考えて内容の順じよを決めればよい。

1 「本質的な問い」による単元構想について

- 本単元の本質的な問いに対して、児童は「自分たちで学習を進める」という意識が学級全体に広がり、自分事として捉えることができた。特に、単元の初めに単元構想シートを児童主体で作成させたことにより、単元全体の見通しをもった学習や、主体的に学び、協働する力の育成などのきっかけづくりができた。
- 第2次の導入において、第1次での学習活動でうまくいかなかったことを改善点に挙げ、「第1次とは違う方法で表現したい」などと、単元構成や内容を児童自らがよりよくしようとする姿が見られ、うまくいかなかったことを見つめ直し、次のステージでよりよくしていくという心情や行動のきっかけとなった。また、調べる方法や発信方法を児童自身で考え、改善を加えたことで、改めて地域のよさを見つめることができただけでなく、地域をよりよくしよう、地域のよさを広めようとするにつなげた。



児童が作成した単元構想シート

2 単元で育成を目指す資質・能力について

【知識・技能】

- 校区である豊浜町のよさや特色、そこで働く人々の感じ方や考え方を、地域の産業、そしてそこに携わる名人を探ることによって見つめることができた。国語科で身に付けた話し方・聞き方、書き方、社会科で学習した地理的知識を活用し、教科横断的な学習ができたと同時に、得た情報や疑問、もっと調べたいことを、ロイロノートを使って比較・分類しながらその都度整理していったことで、どの児童も探究の過程に応じた活用ができた。

総合的な学習の時間の学習だけど、国語みたいに1番伝えたい事から選んだりしない情報を捨てたりしてまとめることができた。

▲A 評価児童の振り返りの記述内容 (35時間目)

【思考・判断・表現】

- 本単元では、第0次で何の名人をどの時期に調べるのかについて児童に決定させた。イメージマップを活用して、まずは地域の産業について出し合い、その中から自分たちが調べたいものを自己決定させ、さらに調べる時期についてもインターネットで「旬」を割り出し、「タチウオ漁は9～10月だから2学期に学習したい」など、自ら課題を設定することができた。
- プロット図を活用して動画の構成や内容を考えさせたが、「クライマックスで動画を見る人に驚きや面白さを感じてもらい、最後に豊島タチウオが展示してある水族館への誘導をしたいから内容をこの順序にした。」「昔と今を比べる為に、生産に関する情報と釣れない理由をくっつけたい。」などと理由付けながら、自分やグループの考えをまとめたり、見通しをもって学習を進めたりすることができた。
- 児童が主体的に思考・判断する、そして自信をもって表現できるようにするための基礎は、各教科との連動・連結が欠かせないと感じた。単元構想の段階で、総合的な学習で何の学習活動をするために、各教科でどんな力を付けておくべきか、あるいは活動や思考ツールの経験を積ませておくのか、そのために教科横断的な学習の視点でのカリキュラムマネジメントの構築を、学校全体で取り組む必要がある。



動画の構成や内容を考えるプロット図

【主体的に学習に取り組む態度】

- 学習していく中で、「実は数年前からタチウオが獲れない」という事実が分かったが、そのことを取って児童にオープンにし、「このまま学習を続けるのか、あるいは別の名人に変更するか?」ということについても話し合う時間を設けた。児童の意見ははじめ分かれたが、異なる意見を受け入れたり、互いの意見のよいところを抽出して折衷案を生み出したり、また表現方法である1分動画の内容や構成を変えたりすることでタチウオの学習を継続するという方向性を導き出すなど、協力して粘り強く課題を解決していこうとする姿が見られた。

3 「デジタル機器」の活用

- ロイロノートを活用し、思考ツールを使って自分の思考を段階的に整理させた。同じノート内で「ツールの切り替え」を積み重ねていったので、思考の流れが分かると共に、思考する過程で必要ないと判断した内容やトピックを、再考の結果再び活かす、といった判断や実行を児童の手元で行うことができた。
- 授業研究では、自分の考えがまとまったプロット図を交流したが、児童はタブレットをグループの友達に見せながらプレゼンテーションしていた。共有ノートに班としての考えを1つにまとめる活動を行ったが、共有ノートを操作する役割を班ごとに1名と決めたことで、話し合い活動がスムーズに行えた。



思考を整理するための思考ツール

本質的な問い

地域・人とどうつながり、どうかかわり、どう生きるのか

単元名

発見！豊浜町の〇〇名人

児童生徒の実態

- ・「自分の住んでいる地域のことが好き」と回答した児童の割合は100%（5人中5人）であった。
- ・「自分の住んでいる地域の良さを伝えることが出来る」と回答した児童40%（5人中2人）
- ・自ら課題を発見し、追究していくことに課題がみられる。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・自分たちにとって最も身近な豊浜町・豊町の特色について理解している。
- ・自ら課題を設定し、調べたり、まとめたりする活動を通して、豊浜町の産業や伝統、人々の思いについて考えることができ、それを相手に分かりやすく伝えることができる。
- ・調べたいことや疑問を友達と共有し、課題解決のための方法を考えたり、粘り強く調べたりして、課題を解決することができる。

単元を貫く問い

「豊浜町」の名人を伝えるために、自分たちは何ができるのだろうか。

【探究課題 よりよい郷土の創造と地域活性化のための取組】

【第3次】（20時間）

課題 多くの人に「豊浜町」の名人の魅力を発信しよう

個別の問い

- より多くの人に豊浜町の魅力を知ってもらうためにはどうすればよいのだろう。
- 相手に合った伝え方をするために工夫することは何だろう。

地域の方

他校の児童

他校の児童

（しかけ）他校の第3・4学年の児童と交流させ、豊浜町の名人を通して、魅力を広く伝えることの大切さとともに、産業や伝統を大切にしようということに気付く。

【第2次】（22時間）

課題 「豊浜町」の名人をもっと探ろう。～豊島タチウオ・よっちゃん豆腐を通して～

個別の問い

- いつ、だれに、どのように伝えればよいのだろう。
- どうすれば、よりわかりやすく伝えられるのだろう。
- 伝える手段を変えると、自分たちの伝え方をどう変えたらいいだろう。

資料・インターネット

地域の方

（しかけ）調べたテーマについて、様々な方法で調べることができることを知るとともに、動画発信のための技能や表現方法を身に付ける。（タブレットの活用）

【第1次】（16時間）

課題 わたしたちの住む「豊浜町」はどんなところだろう。～アビ漁名人を通して～

個別の問い

- 豊浜町で有名なものや自慢は何だろう。
- 豊浜町の知られていない特産物やそれらを支える名人は誰だろう。
- どうやって知らせたら、呉市の人に名人を知ってもらえるだろう。

（しかけ）元アビ漁師の方にインタビューしたり、本やタブレットで調べたことをもとに「アビ漁パンフレット」を作成することで、豊浜町の魅力や、課題について気付かせる。

地域の方

見直しポイント

探究的な学習の過程に沿った単元構成

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
 - ・解決の道筋がすぐには明らかな課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
 - ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
 - ・活動をこなすだけになっていないか。
 - ・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
 - ・学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
 - ・第1次だけで構成していないか。
 - ・第1次のまとめと第2次の課題設定が繋がっているか。